

『お墓に関する意識調査』の結果について

1. 調査の概要

(1) 目的

平成 16 年度に開設した市営大住霊園は、開設から 10 年が経過してきており、現在では 814 区画の全てが使用されている。

また、近年では、少子高齢化や核家族化の進行などの社会情勢の変化が進む中で、お墓に対する考え方やニーズの変化が見られ、それらへの対応を求める声も高まっている。

このため、これからの民意に沿った墓地行政を進めていくために必要な基礎資料として、京田辺市民を対象にアンケート調査を実施し、市民のお墓に対する考え方やニーズの把握を行う。

(2) 調査方法

アンケート調査による。

市内在住の 40 歳以上を対象に、住民基本台帳から 2,000 人を無作為に抽出し、アンケート用紙（回答用を兼ねる）の郵送による配布を実施。

調査対象者	京田辺市在住の 40 歳以上の人（36,970 人）のうちの 2,000 人 ※平成 26 年 12 月 1 日現在（人口 66,687 人、人口割合 3.0%）
抽出方法	無作為抽出
調査期間	発送日 平成 27 年 1 月 30 日（金） 回答期限 平成 27 年 2 月 27 日（金）

(3) 質問内容

質問総数 26（A3 用紙 裏表 1 枚）

回答形式

設定した選択肢から 1 又は数個を選択する形式（該当項目に○を記入）

最終の質問は、意見を自由記入する形式

質問の構成

- I. 回答者自身又は家族について問うもの（問 1～問 8）
- II. お墓に関することについて問うもの（問 9～問 26）

(4) 調査票送付数及び回答状況

送付数：2,000 件

回収数：1,131 件（回収率 56.6%）

2. アンケート結果

2-1 回答者自身及び家族に関する事項

(1) 性別及び年齢帯について【問1】【問2】

性別は、男性が56%、女性が44%となり、年齢別では、60歳代からの回答が最多の31%で、次いで70歳代以上からの回答が27%あった。

図1 性別について【問1】

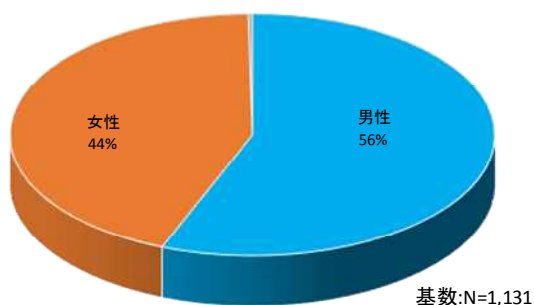
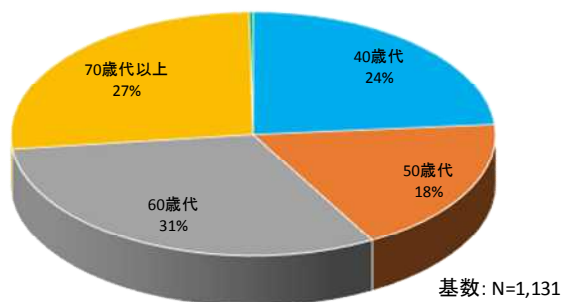


図2 年齢帯について【問2】



(2) 続柄及び世帯構成等について【問3】【問4】【問5】

続柄は、長男が33%、長女が22%、その他が43%であり、世帯主からの回答が最多の59%となった。

また、世帯構成では二世帯（親と子）家族からの回答が50%、次いで一世帯（夫婦）家族が31%であった。

図3 続柄について【問3】

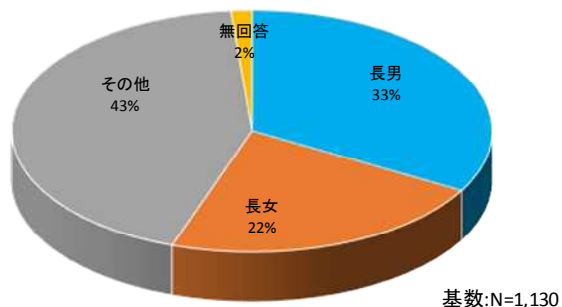


図4 世帯における立場について【問4】

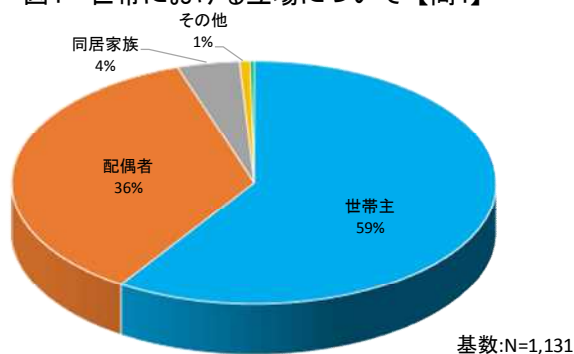
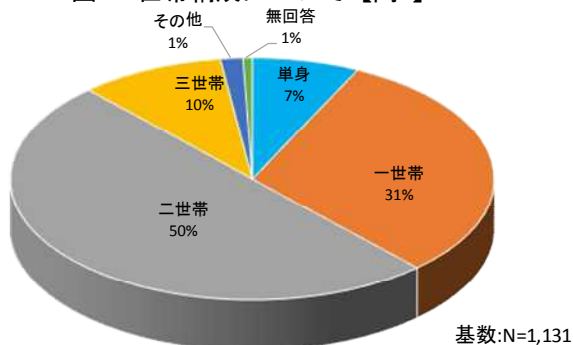


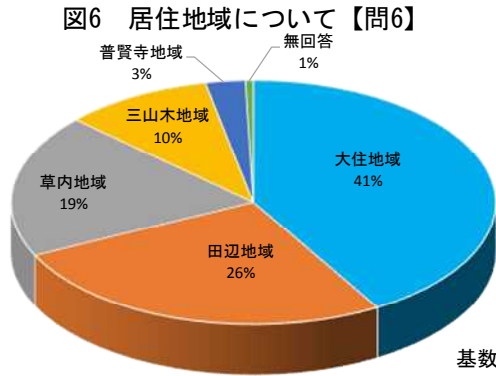
図5 世帯構成について【問5】



(3) 居住地域及び居住年数について【問6】【問7】

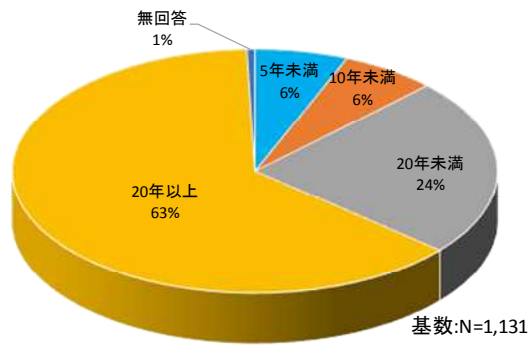
居住地域別では、大住地域が41%、田辺地域が26%、草内地域が19%、三山木地域が10%、普賢寺地域は3%であった。

また、居住年数では、20年以上が最多で63%を占めた。



地域名	小学校区
大住	大住、松井ヶ丘、桃園
田辺	田辺、薪
草内	草内、田辺東
三山木	三山木
普賢寺	普賢寺

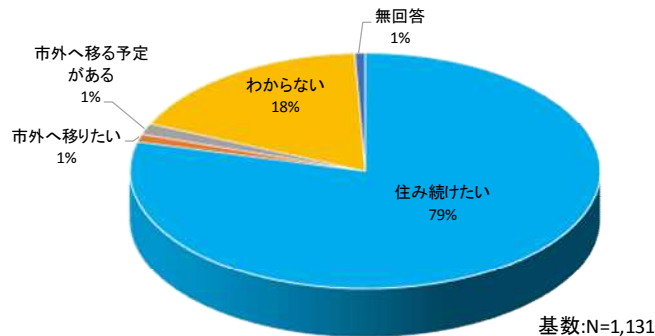
図7 居住年数について【問7】



(4) 市内継続居住の意向について【問8】

将来も京田辺市に住み続けたいと思いますかとの設問に対して、79%がこれからも京田辺市に「住み続けたい」と回答した。

図8 市内継続居住の意向について【問8】



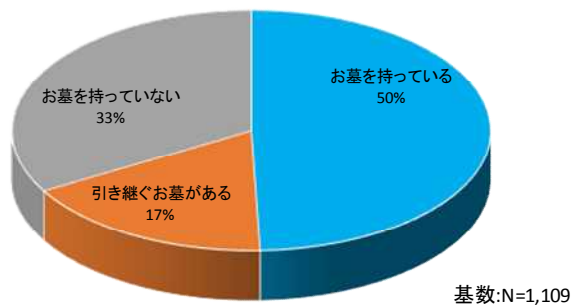
2-2 お墓に関する事項

(1) お墓の所有について【問9】

お墓の所有状況については、「お墓を持っている」と「将来引き継ぐお墓がある」をあわせると67%を占めた。

反対に、「お墓を持っていない」が33%であった。

図9 お墓の所有について【問9】



(2) お墓を取得した経緯及びその所在地について【問10】【問11】

お墓を取得した経緯を問う設問では、「代々のお墓」が59%であった。

また、所有しているお墓の所在地については、「京田辺市外」が53%となり、「市内」を上回った。

図10 取得した経緯について【問10】

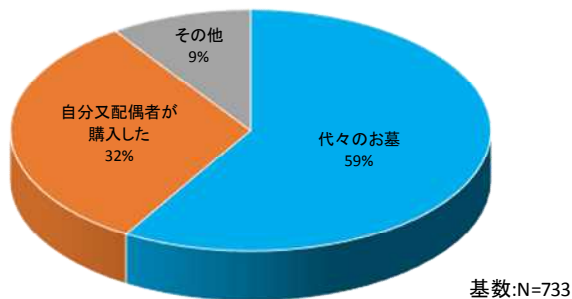
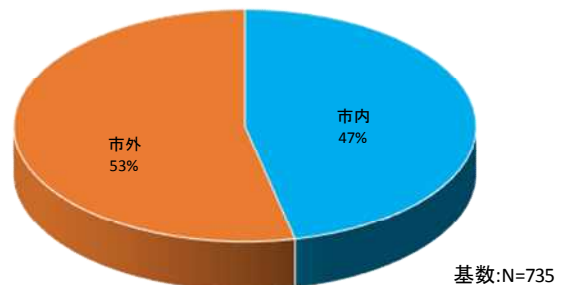


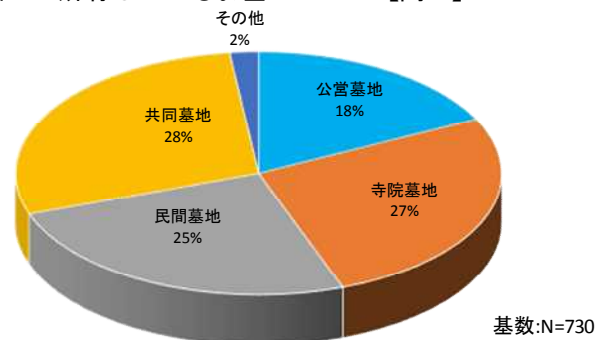
図11 所在地について【問11】



(3) どのようなお墓を所有しているのかについて【問12】

どのようなお墓を所有しているのかを問う設問では、「集落などの共同墓地」が28%、「檀家向けの寺院墓地」が27%、「民間の墓地（宗派を問わない寺院墓地も含む）」が25%、「市営墓地などの公営墓地」が18%であった。

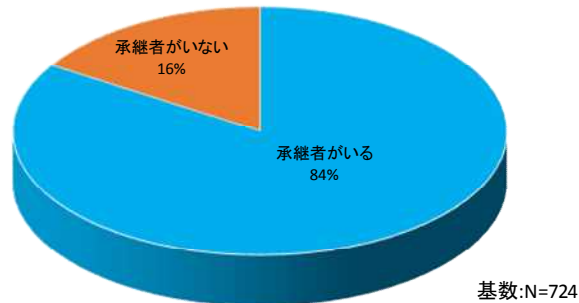
図12 所有しているお墓について【問12】



(4) 将来の承継について【問13】

お墓を継いでいく家族や親族の有無を問う設問に対しては、お墓を継いでいく家族が「いる」との回答が84%あった。

図13 所有しているお墓の承継について【問13】



(5) お墓の満足度及び不満点について【問14】【問15】

お墓の満足度については、「満足している」が66%となり、反対に「不満である」は10%であった。

また、不満とする理由については、「自宅から遠い」が74件の最多となり、次いで「交通の便が悪い」が29件、さらに「管理料が高い」が12件となった。

図14 満足度について【問14】

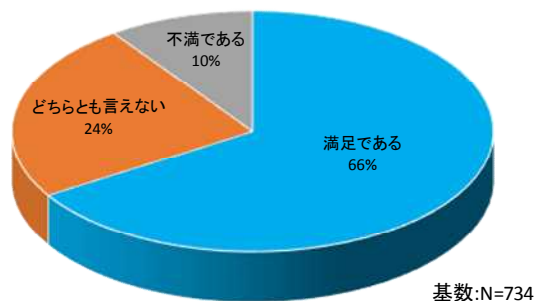
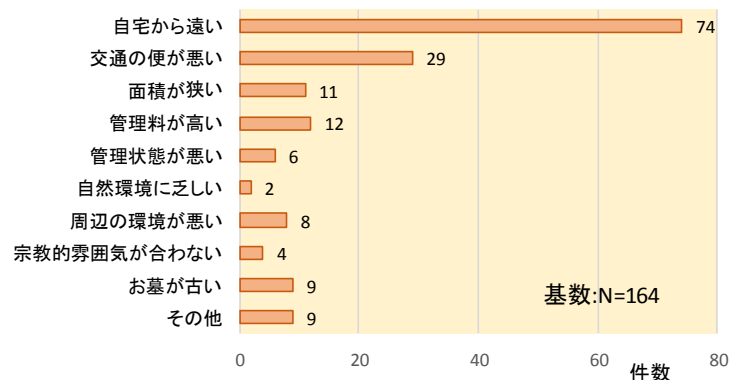


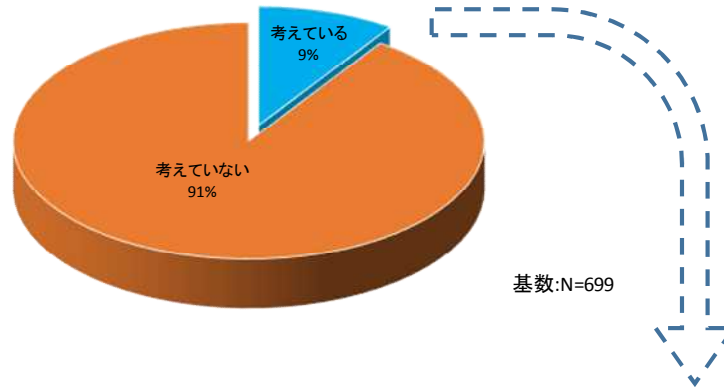
図15 お墓に対する不満点【問15】



(6) 移転（改葬）の検討について【問16】【問19】

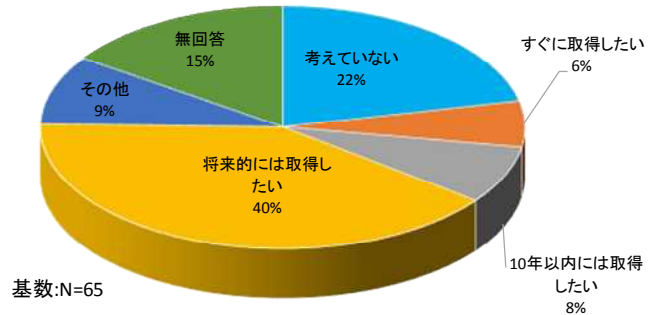
移転（改葬）については、「考えていない」が91%を占めた。

図16 移転（改葬）予定について【問16】



一方、お墓の移転（改葬）を「考えている」と回答した9%（66人）に対して、新たなお墓の取得を尋ねた設問では、「将来的には取得したい」が40%を占め、次に「考えていない」が22%であった。

図17 新たなお墓の取得予定について【問19】



(7) 新たなお墓の取得予定および必要とする理由について【問17】【問18】

新たなお墓の取得については、「考えていない」が67%を占め、次に「将来的には取得したい」が24%であった。

一方、「すぐに取得したい」は2%であった。

取得の理由については、「お骨は持っていないが、将来に備えてお墓を持ちたいから」が82%であった。

図18 新たなお墓の取得予定について【問17】

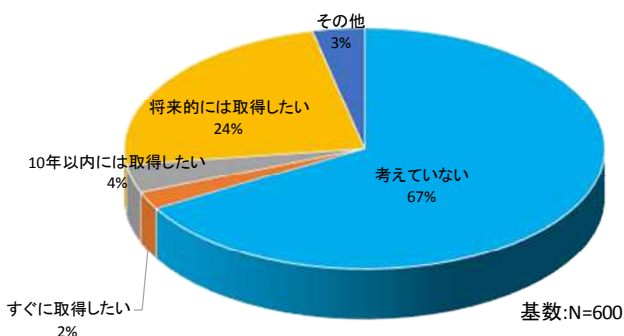
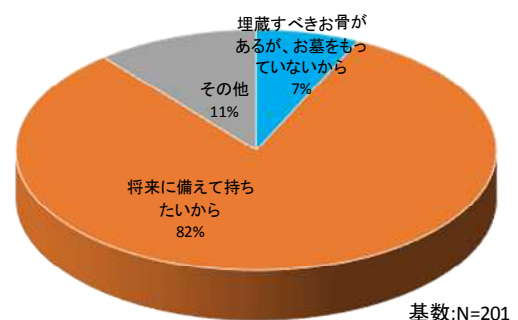


図19 お墓を必要とする理由について【問18】



(8) お墓を取得する場合に希望する場所及び墓地について【問 20】【問 21】

お墓を取得する場合、「条件が良ければ市外でもよい」が 53%と過半数を占め、市内を望む回答を上回った。

取得する場合に希望するお墓については、「市営墓地などの公営墓地」が 40%の最多であり、次いで「こだわらない」が 33%であった。

図20 取得する場合の希望地について【問20】

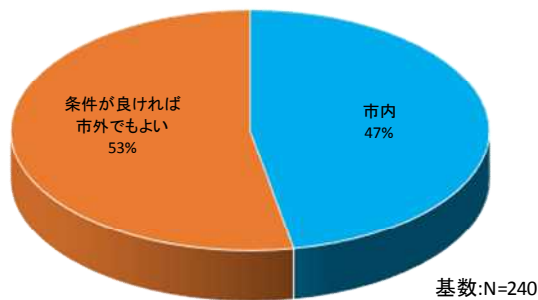
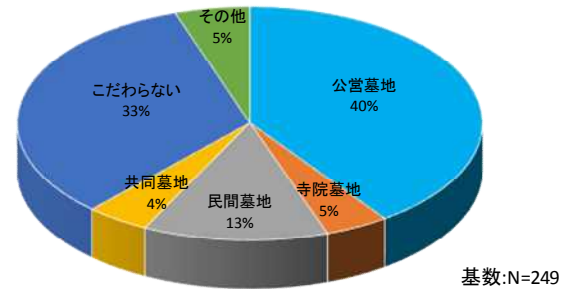


図21 取得する場合に希望する墓地について【問21】

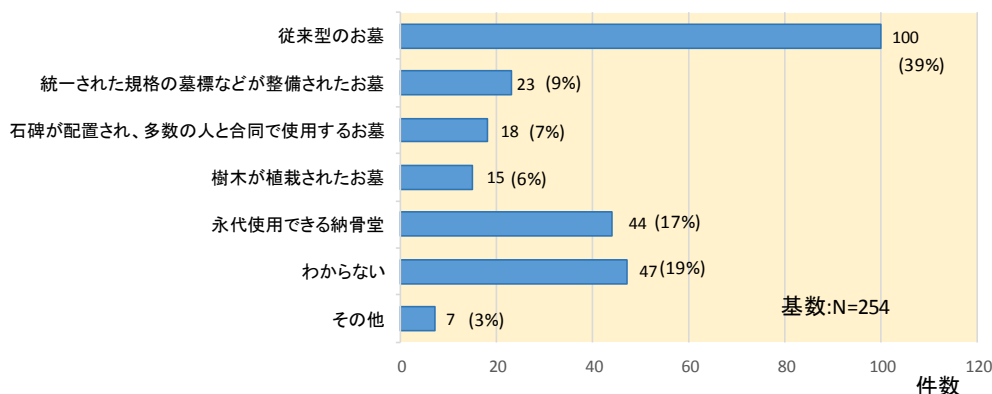


(9) どのような形態のお墓を利用したいかについて【問 22】

利用したいお墓の形態を問う設問に対しては、「決められた区画内に各自で墓石を建立する従来型のお墓」が最多の 100 件 (39%) あり、次いで「わからない」が 47 件 (19%)、「永代使用できる納骨堂」が 44 件 (17%) と続いた。

一方、近年、注目されている「墓標として墓石の代わりに樹木が植栽されたお墓」は 15 件 (6%) であった。

図22 利用したいと思うお墓の形態について【問22】

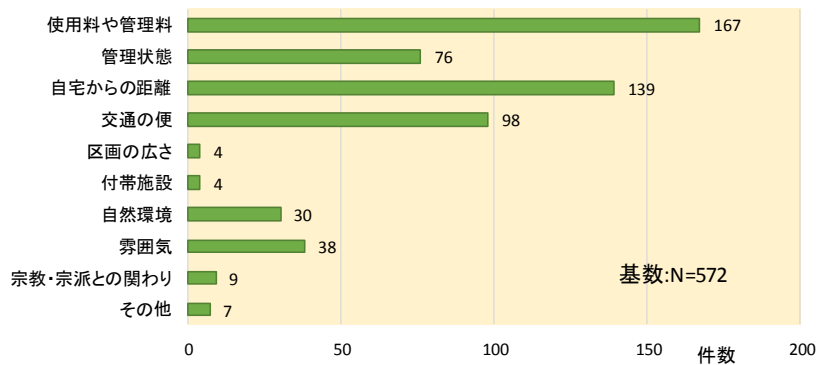


(10) お墓を取得する場合に重視する点について【問 23】

お墓を取得する場合に重視する点については、「墓地使用料や年間管理料などの費

用」が167件、「自宅からの距離」が139件、「交通の便」が98件であった。

図23 取得する場合に重視する点について【問23】

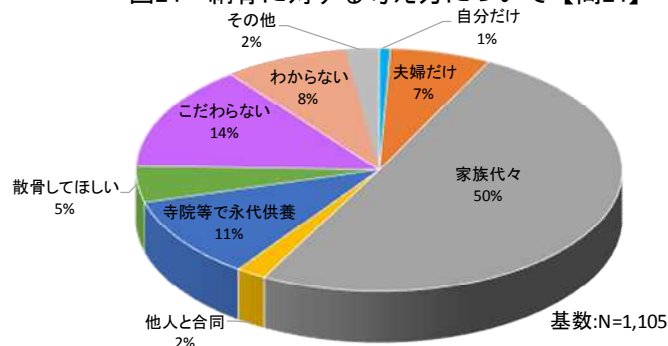


(11) 納骨に対する考え方について【問24】

納骨に対する考え方を問う設問に対しては、「家族で代々入るお墓に納骨してほしい」が50%となり、過半数を占め、次いで、「こだわらない」が14%となった。

一方、近年、話題となっている散骨を望む回答は5%であった。

図24 納骨に対する考え方について【問24】



(12) 市営大住霊園に対する認知度について【問25】

市営大住霊園を知ってますかとの設問に対して、「知っている」が58%であった。

図25 市営大住霊園の認知度について【問25】

